

こんにちは 豊前市議会です



(左から:磯永議長、ハワイ州下院議員バートランド・コバヤシさん、ジーン夫人、ジョージ・アリヨシさん、後藤市長)



9月定例会(9/2～9/24)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2～3P
令和元年9月定例会 議案審議結果	4P
議会報告会	5P
一般質問	6～12P
その他	13P
トピックス・編集後記	14P

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/http://www.city.buzen.lg.jp

議案の概要

令和元年第3回定例会は、9月2日から9月24日までの23日間の会期で開催されました。本定例会には、市長より条例案件2件、その他の案件1件、予算案件1件、決算案件10件、報告案件6件の合計20件上程されました。所管の常任委員会では慎重に審査した結果、議案第37号1件に関しては修正可決、その他は原案どおり可決・認定されました。

最終日には議会運営委員会より意見書案1件、決議案1件が提案され、いずれも原案どおり可決されました。また、市長より、人権擁護委員の推薦に関する諮問1件、教育委員会委員の同意案件1件が追加提案され、原案のとおり同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしとなりました。
(敬称略)

人権擁護委員の候補者

(任期3年)

豊前市大字久路土
入江 静代
豊前市大字赤熊
森本 隆雄
豊前市大字大西
畑邊 克幸
豊前市大字鳥井畑
矢鳴 実佳

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

教育委員会委員

豊前市大字中村
本松 多美子

議案第37号

令和元年度豊前市一般会計補正予算(第2号)を修正!!

産業建設委員会で慎重審査を行い、さくら植栽事業については、今後の植栽計画等を質疑しましたが、明確な答弁が得られませんでした。そこで、「財政が厳しい状況にもかかわらず、詳細な事業計画がない」ことを理由に原案の額249万円に対して、植樹費用189万円を減額し、計画策定のための費用60万円のみを修正しました。

産業建設委員会申し入れ事項

◎ さくら植栽事業について

12月までに指導員と計画を作成し、配布先をしっかりと決めること。また、市の管理する公有地以外は、苗の配布にかぎり、植栽の維持管理等は団体と地元任せ、覚書を交わすこと。

◎ 公営企業会計は、最大限の努力をし、黒字を目指すこと。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

総務委員会	古川哲也・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・福井昌文・尾澤満治
文教厚生委員会	福井昌文・秋成英人・為藤直美・内丸伸一・平田精一・鎌田晃二・岡本清晴
産業建設委員会	黒江哲文・郡司掛八千代・為藤直美・平田精一・鎌田晃二・爪丸裕和・磯永優二
議会運営委員会	鎌田晃二・為藤直美・黒江哲文・平田精一・福井昌文・古川哲也

住民の納得できる予算執行がなされたか？

平成30年度の

一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月12日～13日の2日間にわたり開催し、平成30年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされましたが、申し入れ事項は次のとおりです。

決算審査に関わる決算特別委員会が設置されました。

メンバーは以下のとおりです。

委員長	鎌田 晃二
副委員長	黒江 哲文
委員	為藤 直美
委員	内丸 伸一
委員	秋成 英人
委員	郡司掛 八千代
委員	福井 昌文
委員	古川 哲也

決算審査における

申し入れ事項

平成30年度

豊前市一般会計歳入歳出決算について

ボランティアセンター運営事業費など補助金の委託先や、支出先・事業委託先の団体に業務報告をさせ、補助金等を支出した担当は、事務内容を把握し、丸投げをしないこと。また、費用対効果が上がるように指導すること。

そして、決算書をよく精査した上で、予算編成につなげるように。

以上、申し入れをいたしました。

令和元年9月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

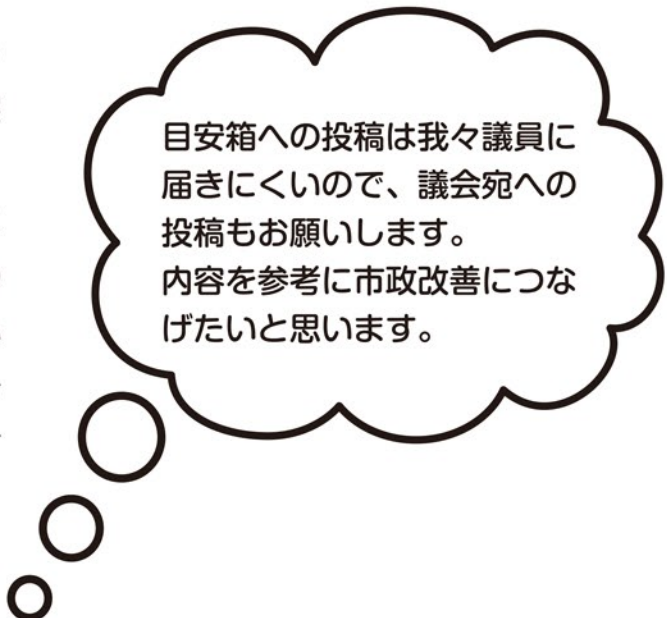
議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤	内丸	秋成	郡司	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	古川	尾澤	爪丸	磯永	賛成	反対
			直美	伸一	英人	掛八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	哲也	満治	裕和	優二		
議案第34号	豊前市印鑑条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第35号	豊前市総合福祉センター設置及び管理運営に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	議長	11	0
議案第36号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	議長	11	0
議案第37号	令和元年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第38号	平成30年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第39号	平成30年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第40号	平成30年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第41号	平成30年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第42号	平成30年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第43号	平成30年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第44号	平成30年度豊前市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第45号	平成30年度豊前市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第46号	平成30年度豊前市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第47号	平成30年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
意見書案第1号	建設従事者のアスベスト被害の早期救済・解決と被害者救済基金の設立を検討することを求める意見書(案)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
決議案第1号	天皇陛下御即位奉祝賀詞決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第4号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

開かれた議会を目指して

第8回 議会報告会 を開催します

市議会は、市民と議会とのつながりを深め、より一層の信頼関係を築くとともに、開かれた議会実現のため「議会報告会」を開催いたします。

議会報告会では、議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行います。市民の皆さんとともに市政について考え、今後の議会活動に生かしていきたいと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。



目安箱への投稿は我々議員に届きにくいので、議会宛への投稿もお願いします。内容を参考に市政改善につなげたいと思います。

日程・時間・場所は下表のとおりです。

日程	時間	地区	会場
令和元年 11月5日(火)	午後7時～	三毛門・黒土・千束	総合福祉センター
令和元年 11月6日(水)	午後7時～	八屋・大村・宇島	中央公民館
令和元年 11月7日(木)	午後7時～	角田・山田	角田公民館
令和元年 11月8日(金)	午後7時～	岩屋・合河・横武	合河公民館

※ どの会場にもご参加できます。(議会報告会の時間は1時間30分程度です)

※ 各地区、地元議員を中心に班編成して参加します。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

【質問項目】

(黒江哲文議員)

① 市政運営の問題とその対策

(内丸伸一議員)

② 環境関連施設

③ 安全・安心なまちづくり

(平田精一議員)

④ 財政問題

⑤ 自動車運転の事故防止

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

※ 詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

※ また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

職員の意識改革と官民連携の取り組みを

が生き生きと活動するための市民公募型の選択をする枠を増やす考えはあるのかお尋ねする。

財務課長 今後も厳しい財政状況であるが、予算編成の中でしっかりと検討していきたい。

黒江議員 市政運営に対する今後の改善の取り組みについて伺う。財源確保のためにも地方創生の取り組みが重要で、自治体が新しい取り組みにチャレンジし、本当にやってみようという意欲が必要であると考えます。豊前市でも職員にアンケートをとっていると聞きますが、これを民間とどのようにつなげていくのか、その仕組みづくりはどう考えているか。

総務部長 総合戦略会議の中で委員の方にお示しし、概ね好評ということでしたので、今後、これを詰めていきたい。

黒江議員 豊前市は協働のまちづくり、中でも地域づくり協議会に力を入れようとしている。民間団体やボランティア団体の活動が盛んで数多くの事業があるが、職員があげた良い事業が民間の提案と一致して

いるのか、また、どのように促すのか、そのような活動を地方創生にあげていく、これが国の掲げる地方創生ではないかと思うがいかがか。

総務部長 そういう提案も事前相談して、乗るようなものであれば進めていきたい。

黒江議員 地域づくり協議会として、地域からいろいろな提案が上がってくると思うが、それを地方創生に反映していく考えはないか。

教育部長 国の制度に載るもの以外について、地方創生があると思うが、加えて、地方創生の一番の目的はどうか人口を増やしていくかである。だから、そうした内容に方向性として合うのか、勉強させていただいて、第二期の総合戦略の中に盛り込めるか検討したい。

黒江議員 活発に活動する団体が数多くあるが、市民

黒江議員 市民対応業務に対する職員の意識改革と機構改革、トップとしての市長の統制力が問われると思う。職員としてのやりがいや満足度は、市民の喜ぶ姿ではないかと思う。上司はそのような部下をしっかりと育てていただきたい。私は豊前市民のために頑張る職員を応援し続けたいと思う。

避難場所に 自家発電を

内丸議員 安全・安心なまちづくりについて伺う。昨年7月の豪雨災害に続き、先月は、佐賀県や福岡県南部で甚大な豪雨災害が発生した。そこで防災対策として、豊前市で避難場所に指定されている所で、自家発電設備を設置している箇所は何箇所あるか、またどこに設置しているかをお伺いする。

総務部長 市役所、また公民館など合計12箇所に配備している。

内丸議員 災害には停電がつきものであり、真っ暗で不安な夜を避難所で過ごすなら、自家発電設備を設置し、避難してきた人々が安心して避難できる、明るい避難所としたほうがいいと考える。各公民館には設置しているとのことだが、多目的ホールや各小中学校にも設置したほうがいいと思うがいかがか。

総務部長 現在、大雨の状況、また台風の進路を予測しながら、事前に市内の公民館を自主避難所として開放している。大規模災害が発生した場合は、多目的ホールや小中学校の体育館等が指定避難所になるということ、多くの方が避難され、場合によっては長期間共同生活を強いられる可能性もある。早急に対処しなければならぬ課題と認識しているが、まず、今年度防災無線の整備をお願いしている。優先順位を見極めながらさせていただきたい。

内丸議員 防災用品として、家庭用コンセントコンロ用のガスで発電できる装置や、LEDバルーン照明器などもある。そんなに高いものではないと思うので、導入へ前向きな検討をお願いする。

続いて、以前、観光拠点に無料Wi-Fiを設置してはどうかと質問した。今回は、そこだけでなく避難場所に指定されている公民館や学校などにも設置を提案したい。災害時に通信環境が悪化した際、家族などとネットを通じて連絡を取りやすくなると思うがいかがか。

総務部長 これは重要なことではあるが、まずは通信環境を確保するというところで、電波状況が、そういうときにつながりにくいときがないか等調査をして、通信環境を整えるところから始めたいと思っている。

内丸議員 いつなんどき災害が発生するかわからない時代となってきた。起ってからでは遅いので、何事も先手先手で対策をとっていただき、市民が安心・安全に暮らせるまちをつくるために、前向きな検討をお願いする。



ふるさと納税で

財源確保を

平田議員 新たに収増の見込みがあるとは思えず、財政が非常に厳しい中、ふるさと納税については、市の財源を手出しすることなく増収が見込める制度だと思う。昨年、豊前市の納税額は2億8千万円程度だと思うが、返礼品、手数料を引いて、いくらかの金額が残ったのか。

総務部長 6割弱が経費となるので、1億数千万円というところになると思う。

平田議員 ご存知のように制度自体の見直しが行われている。今後、総務省の指導によりどうなるのか。

総務部長 募集経費を50%以内、返礼品経費を30%以内、地場産品の定義などの基準、大きく分けてこの3点が示された。

平田議員 ふるさと納税

は、豊前市が先駆けてやったかというところ、かなり出遅れてやってきたと思う。しっかり準備してないとまた乗り遅れて、貴重な財源を得ることができなと思うのでしっかりとやっていただきたい。

次に、企業版ふるさと納税について伺う。地方公共団体が取り組む地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、通常の損金、借入処置による約3割の税の軽減効果に加え、更に3割の税額控除を受けられる仕組みである。豊前市として利用されたことはあるか。

総務部長 現時点でそういうのをしたことはない。

平田議員 冊子の中に事例がたくさんあり、企業が寄附を行うメリットとして、地方創生に貢献する企業としてPRができることと、地方公共団体と新たなパートナーシップの構築ができることがあげられる。それで持続可能なまちづくりを通じた企業のアピール、価値高揚とある。ただ、企業が寄附を行う動機がいろいろ書かれている中に、首長等のトップセールスを受けて事業の趣旨に賛同とある。企業にとっては黒字分を地方に回すということになると思うので、トップセールスについて、市長をはじめ部長、課長が今後どのような対応をとっていくのかお伺いする。

市長 企業版ふるさと納税については、地域の競争、ある意味ではトップセールスの汗の流し方次第だと認識している。たくさん皆様、特に議会の皆さんにもお力を借りながら、市の総力戦でこういう企業版ふるさと納税を呼びかけていく。

平田議員 何を目的に、どういうプロセスでもっていかししっかり計画立ててやっていただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 病児保育の進捗状況
 - ② パスポート事業
 - ③ 図書館全般
 - ④ 宿泊税
- (福井昌文議員)
- ⑤ 企業誘致と工業団地
 - ⑥ 教育問題
- (鎌田晃二議員)
- ⑦ 住民サービス
 - ⑧ 学校図書館
 - ⑨ 市長の書類送検

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

広域連携により 住民サービスの向上を

秋成議員 豊前市で、現在行っていない病児保育について、6月議会において、子育て環境の充実や若い世代へのアピールポイントとして取り組むべきであると提案した。

その際、市長・部長より前向きに取り組みたいが、病児保育に関しては新規事業であり、予算の試算や問題点の検証も必要であるという回答だった。

そこで、現時点での進捗状況、必要な予算、問題点をあつねする。
福祉課長 6月議会以降、豊前築上医師会に、豊築メディカルセンターや市内の医療機関で病児保育の実施が可能かどうか、確認を行った。

その結果、豊築メディカルセンターでは空き部屋がなく、市内の医療機関は空きスペースや看護師の確保の観点から、市内の医療機

関では実施が不可能とのことであった。

また、吉富町・上毛町に共同実施について確認したところ、上毛町からは共同実施は不可能と回答があった。吉富町は、豊前市との共同実施について前向きに検討すると返答があった。現在、吉富町が病児保育を委託している東病院へ共同実施に向け必要な要件などを、確認してもらっているところである。

秋成議員 病児保育は必要な事業である。交渉が難しいのは当然のことと思うが、豊前市単独で実施が難しい以上は、近隣自治体と協力し合い、広域の連携、広域行政を推進していただきたい。

共働き世帯が多い現状であるので、病児保育の一日も早い実現に向け、引き続き交渉をお願いする。
次に、広域連携という観

点からパスポート事業について質問する。以前、平成29年4月から豊前市役所でパスポートの申請・交付が出来るようになるというところで、豊前市単独でなく、お互いに事務効率を考え、近隣自治体との共同運営を提案した。その時執行部から、「広域連携を近隣自治体に提案した」という回答だった。しかし、上毛町は今年の6月から単独でパスポート事業を開始した。その間、広域連携について引き続き交渉を行ったのかお尋ねする。

市民福祉部長 上毛町・吉富町は、当面様子を見たいということであったので、その後、特段声掛け等は行っていない。

市長 単独で実施するより、負担が分割され少なくなるというメリットが考えられるので、これからも広域の連携はしっかり取り組んでいきたいと思っております。

秋成議員 広域連携により近隣自治体との関係を深め、住民サービス向上におお一層力を注いでいただきたい。

ICT化を進め、他に負けない教育環境の整備を

福井議員 英語教育とICT教育は、今からの時代、欠かすことのできない必須の学習科目であると考えられる。そこで、豊前市の現状をお尋ねする。

教育部長 小学校の英語教育は、市費で非常勤講師2名を雇用し、9校を巡回しているのに加え、外部委託の外国人英語助手を配置している。また、県費の職員として、英語専科教員1名が配置されている。新学習指導要領を先取りするかたちで、小学校5・6年生では、年間70時間の事業の実施が出来ている。それに加え、県教育事務所から英語教育体制の整備のため、他の市町と共同であるが、エリアマネージャーとし

て教員1名が巡回し、授業の指導、教員の研修等を行っている。ICT教育関係は、議会からも国の方へ要望していただき、文科省が策定した教育のICT化に向けた環境整備5ヶ年計画に沿い、国の支援を受けて実施している。電子黒板の活用実証研究費補助金を活用し、市内の小中学校すべてに電子黒板1台と周辺機器などを計画的に配置し、必要に応じてデジタル教科書などの導入も行っている。また、児童生徒用のコンピュータの設置は、1学級で使用する場合、1、2人で1台を使用出来るよう配置している。小学校については、タブレットへの変更を計画的に進めている。

福井議員 3月議会でのICT教育の一環で教職員の働き方改革にもつながる統合型校務支援システムについて質問したが、その後の進捗状況をお尋ねする。

教育部長 教育のICT化に向けた整備5ヶ年計画の最終年度にあたる2022年度までに全国の学校

で100%整備するという方針が文科省より示されている。豊前市においても、その実現に向け、本年6月から築上郡3町と豊前築上地区統合型校務支援システム調査研究委員会を設置し、小中学校で使用する統合型校務支援システムについて、共通の内容で実施できるように調査研究を進めている。

福井議員 国から補助金が出ているいま、これを活用し、統合型校務支援システムを導入し、教職員の仕事の軽減を図り、児童生徒と向き合う時間を増やしていただきたい。そして、豊前市に生まれた子供たちが、他の市町村と格差が生じないように、また、負けないよう教育に力を入れることを期待する。

市長 まさにおっしゃるとおり。どうぞ議会のほうからも応援をよろしくお願ひしたい。



児童生徒のために 学校図書館の充実を

鎌田議員 読書は、考える力、感じる力、表す力等を育てるとともに、全ての活動の基盤となる価値、教養、感性等を生涯通じて涵養していく上で重要である。また、本を読む習慣、本を通じて物事を調べる習慣を子供の時期から確立していくことが大切であると考える。学校教育においては、学習指導要領が改定され、学校図書館が新たな役割・機能を備えることが必要になってきている。

学校図書館は、読書センター、学習情報センター、教員のサポートの3つの機能に分けられると思う。そこで、学校図書館の機能を拡大について、教育長に考えを伺いたい。

教育長 これからの教育の方向性ということで、英語教育であったり、ICT教育の充実であったりというのは、マスコミ等で繰り返

し報道され、全面に出がちな調査の中で、年齢が進むに連れて本を読まない、特に高校生はもうほとんど本を読んでいるという実態が示されており、学校の図書館の充実が子どもたちにとって、読書の習慣につながる大事なことで再認識したところである。

鎌田議員 豊前市では学校司書の予算を、4人分確保しているが、人が見つからないと聞いている。資料を見ると、小学校で司書の業務内容は、週に1回が2校、月に2回が8校、中学校では、週に1回が3校、週に2回が1校である。芦屋町では、小学校で週3日、中学校では週4日勤務

していると聞いている。この芦屋町は、司書資格を持たない方も採用して対応しているとのこと。豊前市においても、司書不足解消のためにも、対策を考える時機に来ているのでは。

教育部長 現在、4人分の予算措置をもらいながら、2名しか雇用できていないというのが実態である。採用の基準、資格に拘るのでなく、これまでの反省を踏まえて再検討する。

鎌田議員 市内の小中学校で格差が生じないように、おおまかな運営基準を策定していただきたい。

また、教育委員会が中心になり、学校同士、市の図書館が連携し、司書教諭、学校司書、図書館司書が、負担が過度にならない程度で協議会を設立し、学校図書館の整備・支援を行うことを、お願いする。

教育長 きちんと司書等が週何日行けるとか条件を揃え、学校図書館運営ができるように努力したい。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派議員』の一般質問

【質問項目】

(尾澤満治議員)

- ① 市民サービスの向上
- ② 前回の一般質問の進捗状況

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 住みたい住みやすい街をめざす為の取り組み
- ② 市政懇談会での問題点や課題
- ③ 教育現場の問題点と課題

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 豊前市上下水道及びし尿処理場
- ② 定住自立圏
- ③ 教育

【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 豊前市における男女共同参画の取り組み

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

※ 詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

おくやみコーナーの設置について



尾澤 満治

尾澤議員 総合案内所の勤務体系と業務内容についてお聞きしたい。

総務部長 勤務体系については、受付1名・電話交換2名、合わせて3名体制で行っている。業務内容は、来庁者の受付及び総合的な案内、出入りチェックと不審者の立ち入り監視、拾得物の受付・保管、担当課への届出、業務に必要な作業を行っている。

尾澤議員 おくやみコーナー設置についてお尋ねしたい。最初に14日以内に手続きをする理由について、伺いたい。

市民課長 亡くなった世帯の状況により世帯主を誰にするのか、またどの健康保険を使っているのかを確認しないと分からないことがある。それに伴い手続きの

必要なものがあり、住民基本台帳法や健康保険法の各法で、14日以内に届出の期限が決められている。

尾澤議員 死亡時の行政手続きは、どのように手続きが取られているのか。

市民福祉部長 死亡の手続きに関しては、最大で8課12係の手続きが必要になる。

尾澤議員 このように、煩雑な手続きを市民が行っている。そこでインターネットで検索したら、別府市のおくやみコーナーが話題となっていたので、市役所に視察に訪れた。到着して直ぐに、地下1階のエスカレーターを下りて、真正面におくやみコーナーがあり、フロントの女性の方2名に対応していただいた。ここでお客様シートに記入すれば申請書が一括して作成され、必要な課へ案内と関係書類の作成を補助してもらい、手続きが進められた。また、関係課とも情報を共有して手続き

の種類を選択し、必要に応じて他の窓口案内するか、その担当課の職員がコーナーまで出向くなどして、手続きを完了していた。そこで、豊前市も市民に優しいサービスとして、おくやみコーナーに来られた市民に対して死亡時の手続きが、ワンストップサービスでできないのかお伺いする。

市民福祉部長 別府市は既に2016年5月におくやみコーナーを始めています。市民課で、先進地である別府市役所に視察に行き、住民サービスにつながるということで、関係課と協議をして、ことしの10月からおくやみコーナーを市民課の総合窓口係に設置することになった。

尾澤議員 住民サービスのために、向上心や知識の習得のため、職員は努力していただきたい。



教育現場の先を見据えた 良い環境づくりを



為藤 直美

為藤議員 働き方改革と叫ばれる中、教員現場で悲鳴があがっているようだ。教員が子ども向き合う時間の確保のためにも、部活動指導員の導入、地域と学校がつながるコミュニケーションスクールの仕組みづくり、地域づくり協議会との協働の取り組み等、以前にも質問したが、その後どのように取り組んでいるか？

教育部長 学校現場の教員の残業、特に中学校の部活動の課題等、様々な把握しているところだ。部活動指導員についても今、ガイドラインを作成しており、今後十分に検討を進めていきたいと考えている。また、豊前市では学校運営協議

や課題は多くあり、今後の取り組み、教員の問題、学校教育など、教育長はどのような思いがあるか伺いたい。

会に類する組織が既にあり、それをベースにしてコミュニケーションスクールへ移行できるように取り組みを進めている。今年の3月には、学校教育協議会の関係者、管理職等を対象に、コミュニケーションスクールマイスターの方による研修会を実施し、7月には教職員の研修会を実施している。来年の3月までは、各学校で学校運営協議会の設立ができるよう、校長会を通じてお願いをしているが、教職員等現場の理解が必要のため、研修会等も併せて進めていくよう計画している。

為藤議員 来年の4月がスタートであれば、あと半年しかない。区長会では、区の編成問題や地域づくり協議会もまだ立ち上げ準備の地域も多くある。早くに計画を出し、多くの方が関わり、助け合いができるようお願いする。また、教育現場の問題点



為藤議員 米百俵の精神で、教育現場の先を見据えた良い環境づくりをお願いする。

水道企業団の責任水量



古川 哲也

古川議員 新たに前処理施設として、7月から公共下水道にすぎ込みをして、2カ月以上経ったが、現状はどのようになっているのか。

市民福祉部長 本年6月30日をもって旧施設での生物処理を終了し、7月1日から新たな施設として試運転を開始している。開始後10日間程度、様子を見て、設備等の機能に異常がない・問題がないことが確認できたので、その後本格運転に切り替え、現在に至っている。

古川議員 公共下水道に流すにあたり、水質検査が必要といった条例・法令とあるのか伺いたい。

市民福祉部長 7月初めに水質検査を行い、今後は1年に1回大掛かりな検

査、毎月6項目から7項目の水質検査を市のほうで行う。また、下水道条例での特定施設には、法令上は該当しないが、公共下水管に流し込む物質についての排水基準がある。その基準を遵守すべきと考えている。

古川議員 希釈して今まで以上に流し込みをして下水道の終末処理場の現状はうまくいくのか。

産業建設部長 豊前市浄化センターの稼働率は60%と、15%程度上がっている。また、管理運営面で、処理後の放流水質の問題はなく、検査の結果は、全て基準値内で処理ができていく状況になっている。

古川議員 豊前市の責任水量が毎日6400トンに達しているようだが、水の使用量が伸びるような何か方策・施策があるのか。

産業建設部長 現在、7月以降に尿の受入れがあり、一定程度の成果が出ている。今後、吉富町・上毛町と広域でし尿の受入れ等を

進めて頂き、バイオマス発電所が来年1月から本格稼働の予定があるので、6400トンに近い数字までは行くのではないかと思う。豊前市の場合、実質水源としての井戸の活用も必要な状況であるので、工業用水等も睨みながら、新たな需要の開発に努めてみたいと考えている。

古川議員 井戸水は使わないと良水が保てないと聞くと、現在はそのような利用状況になっているのか。

上下水道課長 井戸を保たせるために活用として利用している。

古川議員 実際が一番水を使った日でも6500トンで、地下水を1000トン汲み上げれば賄える水量がある。執行部のみなさんも、知恵を絞って考え、地下水を利用することも検討願えればありがたいと思う。



男女が協力し合い、助け合い 明るい社会を



郡司掛 八千代

郡司掛議員 女性の登用についてお尋ねする。男女共同参画社会基本法においては、政策等の立案及び決定への共同参画が基本理念の一つに掲げられている。男女それぞれの人権が尊重され、活力ある男女共同参画社会を実現するためには、男女が社会の対等なパートナーとして、方針決定の場へ参画する必要がある。

現在、豊前市の審議会などで女性の登用が全くないものほどのくらいあるか。また、今後どのように考えているか。

性が当該職にいない限り、選出の余地がないという現状がある。そのため、慣例的に各種団体の会長、委員長が充てられているところを、女性に副会長をお願いする、委員の中に女性がいれば選出してもらおう等、担当課より働きかけをしている。それにより、女性登用のない審議会以外でも、女性の登用の率を上げていきたいと考えている。

郡司掛議員 以前は、審議会等における女性委員の登用状況も60市町村の中で最後のほうであったが、昨年は45位に浮上している。数字だけで推し量れないと思うが、これからも適切な人材登用をお願いする。

また、小中学校では、男女共同参画をどのように取り組んでいるか。

教育長 男女共同参画については、日本の社会全体で取り組むべき大切な課題だと認識している。



学校現場においては、具体的に性の違いに対する正しい認識、男女の協力、また実生活における実践的態度の育成等について、発達段階に応じて指導している。また、キャリア教育という領域の中で、男女の区別のない職業感を育む取り組みを積極的に行なっている。そして、子どもだけが学ぶのではなく、保護者世代を巻き込んで、男女がともに輝くという勉強が、いま学校の中で進められている。

郡司掛議員 男女共同参画とは、男性と女性が協力し合い、助け合い、明るい社会をつくっていくことだと思ふ。あまり堅く考えずに、未来の子どもたちの幸せのために、お互いコミュニケーションを取り合い、そこから何か生まれることを期待している。

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、一般質問を行いません。



議長
磯永 優二



副議長
岡本 清靖

無会派議員合同の視察研修



環境センター研修の様子

令和元年8月19日に豊前市環境センターの視察に行きました。生活環境課から、し尿処理施設の概要の説明を受け、前処理施設・公共下水道への繋ぎ込み工事の状況や各施設等を見学し、会議室で質疑等、意見交換を行いました。

産業建設委員会の視察研修



紀の川市役所での研修の様子

産業建設委員会では、令和元年7月11日～12日の日程で視察研修を行いました。

初めに、和歌山県にある貴志駅にて紀の川市観光振興課の南条氏による貴志川線について概要説明を受けました。

次に、紀の川市役所を訪れました。JR和歌山線の活性化・紀の川市シティプロモーションについて、地域創生課から具体的な説明を受け、活発な意見交換を行いました。

平成豊友会・平成豊明会の会派視察研修



衆議院第1議員会館での研修の様子

令和元年7月25日～27日の日程で、千葉県木更津市・東京都で会派視察を行いました。地産地消・観光振興についての説明を担当者から受け、質疑応答を行いました。また、「消滅可能都市に近づく自治体の取り組み」について、研修を行いました。まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」「基本方針」について担当者から、地方の自治体が行っている事例の紹介及び説明を受けました。生活インフラを広域で行うために国からの支援等はないのかなど活発に意見交換を行い有意義な視察となりました。

第13回福岡県市議会議長会議員研修会



第13回福岡県市議会議長会議員研修会の様子

令和元年7月30日に福岡市民会館で開催された第13回福岡県市議会議長会議員研修会に参加しました。福岡県市議会議長会会長の村上幸一氏の挨拶から、初めの講演では、西南学院大学教授の勢一智子氏による「人口減少社会における地方自治」、次に、全国市議会議長会事務総長の滝本純生氏による「市町村議会の現状と課題」について研修を受けました。

武田良太国家公安委員会委員長・防災大臣を訪問



訪問の様子

去る9月19日に磯永優二議長は、国家公安委員会に、第四次安倍第二次改造内閣で、国家公安委員会委員長・防災大臣、行政改革・国家公務員制度・国土強靱化担当に就任した武田良太代議士を訪問しました。磯永議長は、これからも引き続き、豊前市の発展のため、力添えをお願い致しました。

東松島市議会に表敬訪問と夏まつり参加



東松島夏まつりの様子

8月23日～25日の日程で、復興支援・政策推進特別委員会で、「豊前海一粒かき」の稚貝の生産地であり、東日本大震災発生後から支援交流を続けている宮城県東松島市議会を表敬訪問しました。

昨年に引き続き夏まつりに参加し、会場ブースでは、豊前市のジビエの試食や特産品を販売し、まつりを大いに盛り上げました。今回も売上金については復興支援として東松島市へ全額寄附しました。

編集後記

近年続く猛暑が終わり、過ごしやすい秋を迎え、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。ここ数年、日本では大規模な災害が多く発生しています。被災者の方々には心から御見舞い申し上げます。

そのためか、防災意識が高まりつつあります。水や非常食の備蓄、避難訓練や防災訓練などに参加することは大切なことです。幸いにも、豊前市では甚大な被害がなく、安全な地域であることに感謝しています。

さて、私たち市議会議員の選挙が来年3月に行われます。私たち市議会議員の仕事は、一人ではできません。多くの市民の皆様の支えがあり、今の私たちがあります。

これからも皆様と手を携え、豊前市の発展のため、先人の教えを後世に受け継いでいきたいと思っていますので、ご指導、ご協力をよろしくお願いたします。

秋成 英人

次回の定例市議会は
12月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社